

令和元年 9 月 新規開講!!

文京避難所大学

住民を支援する避難所コーディネータの育成講座

首都直下地震発生 1 日後の東京都内の避難所で生活する人数想定	約 220 万人
文京区内の避難所で生活する人数 (発生 1 日後の想定)	約 3万6000 人
文京区内の避難所 1 か所あたりの平均生活者数	約 1000 人

1000 人を超す家を失った人々、多国籍の住民を災害後にいち早く守ることはできますか？
たくさんの帰宅困難者も地域の避難所を頼ってきます。でも初期の避難所は大混乱。

課題を解決できる **避難所コーディネータ** が必要です！

災害時にあなたの地域を守るためには、住民の命を守り、避難所で 1 人 1 人の生活を守ること、いろいろな人が寄り集まった多様なニーズにきめ細かく対応していくことが重要です。そのために必要な知識を学び、災害時の判断力をもつこと、さらに周りの人を守れる避難所コーディネータが地域に必要です。日本女子大学では、日頃地域や職場にいる方が、災害後に避難所で活躍する「避難所コーディネータを育成する講座」を開設します。

特に防災に関する高度な知識と判断力を持ち、避難所の運営とその支援ができることをめざしています。NPO や学校などいろいろな人々をつなぐコーディネータになれる、高齢者や赤ちゃん、外国人などを守ることのできる、「地域の避難所運営に対してサポートできる」人材を育てるための市民のための実践的な講座です。避難所運営と防災に関する共通基礎を今年度から始めます。題材は、「関口台町小学校避難所」を取り上げます。

23 区内ではどこも避難所には 1000 人以上の人々があふれます。どうやったらうまく運営できるか、赤ちゃんやお年寄りをどう守ったらよいか、支援者になるために一緒に考えていきましょう！！

	2019年9月28日(土)	無料
第 1 回 開催日	15:30~16:30 講座 16:30~17:30 交流会 (どなたでもご参加いただけます)	
対 象	どなたでもご参加いただけます。 ※お住いの地域・在学・在勤等、問いません。	
場 所	日本女子大学 目白キャンパス 百年館高層棟 4 階 マルチメディア室 1 及び人間交流室 東京都文京区目白台 2-8-1	
主 催	日本女子大学 社会連携教育センター設置委員会	
共 催	日本女子大学生涯学習センター	
講 師	日本女子大学家政学部住居学科教授 平田 京子	
お 申 し 込 み	事前申し込みをお願いいたします。電話・FAX・メールにて受け付けております。 電話03(5981) 3770 / FAX 03(5981)3774 メール: infosen@atlas.jwu.ac.jp お問合せ先: 日本女子大学 大学改革推進室 (社会連携担当)	

※次回を年度内に開催予定。2回以降の日程は、決まり次第お伝えします(3回を予定)

